

2 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

簿記会計

試験問題用紙

(2025年7月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄に楷書で記入してください。
6. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
7. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
8. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
9. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
10. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
11. 試験時間は正味50分です。
12. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
13. 試験時間中の私語は禁止します。
14. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
15. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
16. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
17. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

一般社団法人 日本損害保険協会

記述式の問題です。解答は楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

次の 1 ～ 5 の取引の仕訳を解答用紙に記入してください。

なお、勘定科目は下記の勘定科目表から最も適切なものを選び、必要に応じて何度使用しても構いません。

1. A 商店から商品¥200,000 を仕入れ、代金は小切手 #26 を振り出して支払った。なお、当社の当座預金残高は¥170,000 であり、銀行とは¥100,000 を借越限度額とする当座借越契約を結んでいる。
2. B 百貨店発行の商品券¥190,000 をこの発行元である B 百貨店へ引き渡し、現金¥190,000 を受け取った。
3. C 商店は決算にあたり、商品売買に係る消費税の納付額を計算し、これを確定した。ただし、仮払消費税勘定の残高は¥330,000（借方）であり、仮受消費税勘定の残高は¥450,000（貸方）である。なお、C 商店は直前の課税期間の確定消費税額が¥480,000 以下であるため、中間申告は行っていない。
4. D 商事株式会社の額面金額¥500,000 の社債を、額面¥100 につき¥99 で売却し、代金は小切手で受け取った。ただし、この社債は額面¥100 につき¥98.5 で購入している。
5. 本月分の給料¥790,000 の支払いにあたり、所得税の源泉徴収額¥60,000 を差し引き、当社の普通預金口座から口座振替で従業員に支払った。

《 勘定科目表 》

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金
売 掛 金	有 価 証 券	繰 越 商 品
仮 払 消 費 税	受 取 商 品 券	支 払 手 形
買 掛 金	所 得 税 預 り 金	未 払 消 費 税
未 払 法 人 税 等	仮 受 消 費 税	商 品 券
有 価 証 券 売 却 益	有 価 証 券 評 価 益	仕 入
有 価 証 券 売 却 損	有 価 証 券 評 価 損	給 料
租 税 公 課	本 店	支 店

【問題 2】

下記の勘定における①～④の（ ）内に入る金額を求め、解答用紙に記入してください。ただし、期首商品棚卸高は 320 千円、期末商品棚卸高は 350 千円でした。また、当期中の売上総額は 7,600 千円、当期中の仕入総額は 5,400 千円でした。なお、利益準備金は配当金の 10 分の 1 の額を計上しました。

(単位: 千円)

仕 入				売 上			
()	()	仕入戻し	380	売上戻り	520	()	()
繰越商品	()	繰越商品	(①)	()	()		
		()	()		()		()
	()		()				
		損	益			繰越利益剰余金	
仕 入	(②)	売 上	()	未払配当金	(③)	前期繰越	480
その他の費用	2,900	その他の収益	1,500	利益準備金	()	()	(④)
()	()			次期繰越	730		
	()		()		()		()

【問題3】

次の精算表の①～⑩に当てはまる金額を解答用紙に記入してください。

精 算 表

令和〇年 1 月 1 日～令和〇年 12 月 31 日

単位：円

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	180,000							
現 金 過 不 足	10,000							
当 座 預 金	970,000							
電子記録債権	300,000							
売 掛 金	350,000						④	
有 価 証 券	1,400,000						⑤	
繰 越 商 品	230,000							
備 品	3,000,000							
買 掛 金		300,000						
借 入 金		1,000,000						
仮 受 金		30,000						
貸 倒 引 当 金		16,000						⑥
減価償却累計額		900,000						⑦
資 本 金		3,800,000						
売 上		4,900,000						
受 取 手 数 料		180,000						
仕 入	3,400,000				①			
給 料	900,000							
支 払 家 賃	170,000							
租 税 公 課	140,000							
保 険 料	30,000							
支 払 利 息	6,000							
雑 費	40,000				②			
	11,126,000	11,126,000						
貸倒引当金繰入								
減 価 償 却 費								
有価証券()								
()手数料							⑧	
()利 息								⑨
()					③			
当 期 純 利 益								⑩

<付記事項>

1. 現金過不足 10,000 円の原因を調査したところ、雑費 10,000 円を現金で支払った際に 2,000 円の支出と誤記入していたことが判明した。なお、現金過不足の原因が判明しない分については適切な勘定に振り替える。
2. 仮受金 30,000 円は、得意先からの売掛金の回収であることが判明した。

<決算整理事項>

1. 電子記録債権および売掛金の期末残高に対して 4% の貸倒れを見積る。
2. 有価証券は 1 株 25,000 円に評価替えする。なお、この有価証券は E 商事株式会社発行の株式であり、当店は 70 株を保有している。
3. 期末商品棚卸高は 250,000 円であった。
なお、売上原価は「仕入」の行で計算すること。
4. 備品の減価償却を次のとおり行い、間接法によって記帳する。
取得原価：3,000,000 円 償却方法：定額法
残存価額：取得原価の 10% 耐用年数：9 年
5. 翌年 3 月末に手数料 120,000 円を受け取ることになっている。これは本年 10 月 1 日から翌年 3 月末の手数料である。適正額を繰り延べ計上する。
6. 本年 5 月 1 日から翌年 2 月末までの利息 15,000 円を翌年 2 月末に現金で支払うことになっている。適正額を見越し計上する。

